

第9回「東海財界倶楽部」例会 「日韓国交正常化50周年」

平成二十七年六月十七日、第九回「東海財界倶楽部」例会が開催された。同会は東海地方で活躍する経営者を中心とした異業種交流会。当日は駐名古屋大韓民国総領事館朴煥善総領事による、日韓国交正常化50周年記念講演を実施。親睦会などが行われた。

平成二十七年六月十七日、ホテルメルパルク名古屋三階「シリウスの間」(名古屋市中区葵三一六一―一六)で、第九回「東海財界倶楽部」例会が開催された。

当日は正会員・準会員を含め中部地区で活躍する経営者ら約三五名が出席。

午後六時三十分からの第一部では、日韓国交正常化50周年記念講演を実施。駐名古屋大韓民国総領事館朴煥善総領事が、演題を「日韓国交正常化50周年を迎える韓日関係と民間外交の役割」とする講演を行った。

朴総領事は流ちょうな日本語

で、「南米勤務が長いが、震災を経験した日本も忘れられない勤務地になった」と駐仙台大韓民国総領事館

での経験を交え自己紹介。続いて韓国のイメージを伝える動画を上映した。

続いてプロジェクトを用い、日韓の不幸な歴史

と、韓国の目覚ましい成長について解説。また、国交正常化50周年に至るまでの日韓関係のあゆみを年表や具体例を示しつつ詳細に語り、今後「人的交流の拡

大」「共存共栄の経済関係」「戦略的パートナーシップの強化」という課題を乗り越え「協力と共生」を果たすべきと述べた。

朴総領事は最後に「日韓国交正常化50周年を好機に、一般人ひとりひとりが外交官となった草根民間外交を」と呼びかけた。

七時二十分から第二部では、会場を同じくして、晚餐を交えた名刺交換会および親睦会を開催。ホクセイの山下三男代表が「韓国の方とは取引もあり、個人的にもよく訪れて楽しませてもらっている」と語った上、「出席者のますますのご発展を祈って」と乾杯の発声を行った。

着席による和食コースと共に親睦会が和やかに行われ、最後はイッコウサポートの渡邊浩司代表による一本締めで中締めが行われた。

今回、出席者には駐名古屋大韓民国総領事館より記念品として「共に開こう 新たな未来を」と韓国語で書かれたバッジが贈られた。



朴煥善総領事